

# 災害救助犬を認定しています！



## 命を見つける災害救助犬

災害救助犬は、災害が発生したとき、土砂や倒壊家屋のがれきに埋没した被災者を、臭いによって捜索し、その位置を特定し、吠えることによって位置を知らせます。

ジャーマン・シェパード・ドッグやラブラドル・レトリバーといった大型犬種はもちろん、倒壊家屋にできた狭い隙間でも活動できるチワワやミニチュア・プードル、パピヨンといった小型犬種も災害救助犬として全国的に活躍しており、犬種・血統は問われません。

## 災害救助犬になるには

育成は災害救助犬育成訓練所などで行います。

基本的な訓練をおよそ半年間行い、がれきや騒音に接する機会を設け、これに慣れさせます。そこからさらに1年から1年半の間、実践的な訓練を行います。

東日本大震災や先の九州北部豪雨においても、災害救助犬が捜索活動を行いました。

## 石川県災害救助犬審査会

石川県では、毎年3月、県森林公園において、災害救助犬の認定審査会を開催し、災害が発生した際の迅速な被災者救出に備えています。

ここ数年は毎年4頭～10頭を県の災害救助犬として認定しています。

石川県に居住する方であればどなたでも参加できますので、是非ご参加ください！詳しい日時や申込方法については、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

## お問い合わせ先

○災害救助犬の育成に関すること

NPO法人石川県救助犬協会連合会 TEL:076-287-5528

○石川県災害救助犬審査会に関すること(日程など)

石川県危機管理監室危機対策課 TEL:076-225-1482